

奥多摩（平石尾根—本仁田山—鳩ノ巣駅）

山行日 4月9（日）天気：晴れ 参加者（8名）

（SF）

コース：奥多摩駅 8：00→大沢バス停 8：45→平石山 11：15→
本仁田山 12：30→チクマ山 13：25→花折戸尾根分岐 13：30→
鳩ノ巣駅 15：20

数年前に行った平石尾根經由本仁田山へ行くこととした、普段は単独の山行が多いが、今回は8名の山行でしたので、歩くペース等気負付けて歩く事にした、登山口から以前にも間違えた作業道を少し進み戻った、その先に行くと、標識がありそこが登山口で、ここから鉄塔まで間は人工林の急騰ですが、以前より作業道として整備され、大きな九十九折のコースとなっていた、鉄塔の場所は上空が空いていて、日が当たるので休憩をしたが、北風が強く寒く長い休憩は出来なかった、ここからは人工林の緩やかなコースとなり自然林へと進む、痩せ尾根で急な岩場があり参加人数が多いので、通過に注意した、この先も平石山までの間は、少し平らな箇所と急な登りの繰り返しが続く、平石尾根が北尾根で、今日は北風が強く吹く為に、登りですが熱くなく、休憩を取ると寒く感じた、平石山には、立派な標識が2個あった、以前は小さな標識が地面に置いてあり、山頂を探した記憶がよみがえった、本来であれば、平石尾根の出口付近での昼食を行うのですが、北風が強い為、コースの途中尾根の陰の部分で昼食を取った、ここまでの時間が計画より早い為長い休憩とした、昼食後最後の登りを進み、平石尾根の出口、川海苔山への登山道に合流し、ここから本仁田山までは、100mで山頂に着く、山頂には多くの登山者がいて、休憩する場所はなかった、山頂での記念撮影を行い、ゴンザス尾根入口で景色を見ながら休憩を取ったこちらは、南尾根になるので、風の影響がなく、温かく気持ちが良い、この場所から一般登山道で案寺沢方面に行くコースもある、このコースは奥多摩の3大急騰の一つです、私たちはゴンザス尾根を下山した、ゴンザス尾根は昭文社地図では点線のルートですが、踏み後はありリボンも多くあるので道迷いの心配は無い、又この場所の標識に花折戸尾根は登山口の橋が通行禁止の為渡事が出来ませんの、表示があった、今回は花折戸尾根を下山するが、以前に別のルートで通過しているので、気にしないで、下山をした、ゴンザス尾根は最初が急な下りでしたが滑りやすいので、注意が必要、ここを過ぎるとあとは、多少のアップダウンを繰り返す尾根のルートとなる、途中でチクマ山があるが、下山時急いで下ると、見落としてしまう場所です、場所として山とは感じられない所の為、ここから数分で花折戸尾根分岐に到着、ここの標識には、注意書きは無かった、この尾根も最初は人工林の急な下りが続くコースで滑りやすく、途中で古い標識で鳩ノ巣駅への標識もある、最後の部分で、正しくは尾根を直進する場所で、その手前に古い標識があり鳩ノ巣駅となっていた、直進の先を見ると急な下りの為、標識に従って進む、橋の修理が終わったと思い、橋の見える場所まで来ると、通行止めが見えたので、引き返した、標識の場所まで戻るのは大変な為途中より、トラバースし以前に確認した祠を見つけ、正しいルートの合流した、ここから下山口へ進むが、以前に私が降りたコースで、人家の裏に梯子が取り付けられている場所より降り、道路に出た、本来はもう少し駅に近い場所の祠の裏からのコースでしたが、このようなコースの場合は、よくあるケースで、無事に降りられれば良いとしています。



大沢バス停先の橋を渡った場所が登山口



この標識より入る



人工林の急な登り



鉄塔に ここから案寺沢への分岐がある



こんな岩場もある



岩場を過ぎ休憩



休憩した場所にあった花 名前は？



コース途中の祠



広い尾根ですが急な登り



途中岩場もあるが広いので危険は無い



平石山手前の最後の登りに



平石山山頂



北風が強い為 尾根の陰で昼食



平石尾根終点 川海苔山方面一般登山道に合流



本仁田山 山頂 人が多く急いで
記念撮影



山頂が混んでいたの、ゴンザス尾根入口で
休憩 花折戸尾根で橋が崩落の為渡れません
の表示がある



ゴンザス尾根も最初は急な下り 注意が必要



チクマ山 の山名標識



花折戸尾根への分岐



古い標識が地面に置いてある



途中に後で付けた標識この部分で
コースが右に進む



途中の展望スペースよりダムの名前は？



この場所で直進が正しいが標識に騙され
右に進む、後で斜面をトラバースした



下山口人家の裏に梯子が取り付けられてあった



本来はこの場所に下山する予定でした



問題はし本体は問題ないので上に板を張れば通行できそう？